

発表項目 (行事名)	令和5年度(2023年度)第1回タンチョウ越冬分布調査の結果について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>【ポイント】</p> <p>絶滅危惧種タンチョウの越冬分布・規模の把握等を目的として毎年実施している本調査について、今年度1回目の調査を10(総合)振興局管内で実施し、前年度1回目の調査より114羽多い、1,086羽のタンチョウが確認されました。</p>		
	1 調査実施日時等		
		令和5年度(2023年度)第1回	[参考] 令和4年度(2022年度)第1回
	調査日時	12月5日(火) 8:50~9:10	12月2日(金) 8:50~9:10
調査区域	10振興局 44市町村	10振興局 46市町村	
調査地区	計354地区(407箇所)	計362地区(419箇所)	
調査協力者	小・中学生など計334人	小・中学生など計406人	
その他、結果の詳細については以下のHPに掲載します	2 タンチョウ確認羽数		
	令和5年度(2023年度)第1回	合計:1,086 [成鳥:918、幼鳥:115、不明:16、飼育個体:37] うち野生個体:1,049 [空知:3、石狩:0、胆振:11、日高:4、留萌:0、宗谷:8、オホーツク:0、十勝:209、釧路:756、根室:58]	
	令和4年度(2022年度)第1回	合計: 972 [成鳥:818、幼鳥:98、不明:17、飼育個体:39] うち野生個体: 933 [空知:3、石狩:0、後志:0、胆振:6、日高:6、宗谷:2、オホーツク:0、十勝:198、釧路:668、根室:50]	
	3 今回の調査結果に対する有識者コメント概要 (有識者: <small>まさとみ ひろゆき</small> 正富 宏之 専修大学北海道短期大学名誉教授)		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査精度向上が認められる十勝・根室管内の確認数が前年同様のレベルであることから、釧路管内での個体の新たな確認が理由と考えられる。 ○ 個体数増加に伴い分布域を広げつつあり、幅広く環境教育としての調査参加を呼びかけるべき。 		
参 考			
報道(取材)に当たってのお願い	<p>第1回調査では、地元の小・中学校の児童、生徒をはじめ多くの方々の御協力をいただいております。</p> <p>また、本調査は、平成29年度から北海道と包括連携協定を締結している日本航空株式会社と協働で実施していますので、積極的な報道をお願いします。</p>		
他のクラブとの関係	<p>同時配付：道政記者クラブ及び関係(総合)振興局記者クラブで配付します。</p> <p>同時レク：す。</p>		
担 当 (連絡先)	<p>環境生活部 自然環境局 自然環境課 (担当者: 課長補佐 橋本) 電話ダイヤル: 011-204-5203 (内線24-352) 公用スマホ: 011-585-6102 (内線24768)</p> <p>胆振総合振興局 保健環境部 環境生活課 (担当者: 環境生活課長 徳永) 電話ダイヤル: 0143-24-9508 又は 0143-24-9577 (内線2950) 公用スマホ: 011-585-6103 (内線35580)</p>		



<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/tantyou.html>